

平成 27 年 4 月 13 日

各 位

上 場 会 社 名 株 式 会 社 パ ス ポ ー ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 水 野 純
(コード番号 7577)
問 合 せ 先 責 任 者 常 務 取 締 役 総 合 企 画 部 長 久 保 田 勝 美
TEL (03) 3494-4497

資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 4 月 13 日開催の取締役会において、平成 27 年 5 月 28 日に開催予定の第 47 回定時株主総会に、資本準備金及び利益準備金の額の減少に関する議案を付議するとともに、資本準備金及び利益準備金の額の減少の効力発生を条件として剰余金の処分を行なうことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

当社は、平成 27 年 2 月期の決算において 735,819,102 円の繰越利益剰余金の欠損を計上しております。この欠損を填補し、剰余金の配当財源の充実を図るとともに、今後の機動的かつ安定的な配当政策を実施するため、資本準備金及び利益準備金の額の減少を行ない、剰余金の処分を行なうものです。

2. 資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の要領

(1) 資本準備金及び利益準備金の額の減少の要領

会社法第 448 条第 1 項の規定に基づき、資本準備金及び利益準備金の額の減少を行ない、その他資本剰余金及び繰越利益剰余金に振り替えるものです。

減少する資本準備金及び利益準備金の額

| | |
|-------|-------------------------------|
| 資本準備金 | 292,300,250 円のうち 80,000,000 円 |
| 利益準備金 | 31,220,000 円のうち 31,220,000 円 |

(2) 剰余金の処分の要領

今後の機動的かつ安定的な配当政策を実施するために、下記に記載のとおり、会社法第 452 条の規定に基づき、利益準備金振替後の 31,220,000 円、及び別途積立金 738,000,000 円を繰越利益剰余金に振り替えることで損失の処理を行ない、その他資本剰余金を配当原資として期末配当を行なうものです。なお、かかる剰余金の効力は、上記(1)による資本準備金及び利益準備金の額の減少の効力発生を条件として生じるものとします。

①減少する剰余金の項目およびその額

| | |
|-------|---------------|
| 利益準備金 | 31,220,000 円 |
| 別途積立金 | 738,000,000 円 |

②増加する剰余金の項目およびその額

| | |
|---------|---------------|
| 繰越利益剰余金 | 769,220,000 円 |
|---------|---------------|

③増減後の剰余金の残高

| | |
|----------|--------------|
| その他資本剰余金 | 80,000,000 円 |
| 繰越利益剰余金 | 33,400,898 円 |

3. 資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関する日程

- | | |
|----------------|------------------|
| (1)取締役会決議 | 平成 27 年 4 月 13 日 |
| (2)債権者異議申述公告 | 平成 27 年 4 月 27 日 |
| (3)債権者異議申述最終期日 | 平成 27 年 5 月 27 日 |
| (4)株主総会決議日 | 平成 27 年 5 月 28 日 |
| (5)効力発生日 | 平成 27 年 5 月 28 日 |

4. 今後の見通し

上記の資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分は、純資産の部における勘定の振り替えとなりますので、当社の純資産額に変動はなく、また、当社の業績に与える影響はございません。

以 上